

普及活動の成果

課題名 : 畜産クラスターの取り組みによる肉用牛産地づくり

振興局名 : 五島振興局

活動対象 : 五島地域畜産クラスター協議会、JAごとう肉用牛部会

実施期間 : 平成29年4月～平成30年3月

【対象の概要】

畜産経営では高齢化の進展や後継者不足から、農家戸数並びに飼養頭数の減少が進んでいる。地域課題を解決し産地の維持拡大を図るため、五島地域畜産クラスター協議会を立ち上げ、リース牛舎建設や自給飼料関係機械、飼養管理関係器機等のリース事業等を行った。

【課題設定の背景】

産地の維持拡大に向けたクラスター計画に基づく活動を、関係機関一体となって取り組む必要がある。これまでに負債が累積している一部農家に対し、既往負債の着実な償還を通じた経営改善と今後規模拡大を図る農家に対する経営支援を、関係機関と一体となって実施する必要がある。

飼料、資材、動力光熱費の高騰が経営を圧迫しており、飼養管理の改善、飼料基盤の充実等に取り組む必要がある。

【活動目標】

五島牛の産地維持拡大、生産性向上対策の推進、飼料基盤の充実及び経産牛肥育の推進

【関係機関との連携（活動体制・役割分担）】

JAごとうは、農協リース牛舎とキャトルステーションを建設し、五島市と新上五島町では、牛舎建設の計画書作成支援を行った。共済五島支所と五島振興局（農業振興普及課と家畜衛生課）は、取組主体である新規就農者や規模拡大者に対して、飼養管理等に関する助言を行った。

【活動経過】

① 五島牛の産地維持拡大

28年度当初事業分の農家7戸の肉用牛導入状況の進捗管理を行った。また、28年度補正事業で取り組む規模拡大志向農家10戸と農協キャトルステーションについては、本体工事が8月より着工しており、月2回の工程会議に出席し、進捗状況の確認を行った。また、29補正事業で6戸の農家に取り組むこととなり、計画書作成支援を行なっている。肉用牛経営不振農家の増頭に伴う資金繰り悪化を未然に防ぐため、要支援農家を選定し、改善意思のある農家に対し、農協中央会、農協、県が一体と支援を行なった。

② 生産性向上対策の推進

28年度当初事業分の農家7戸の肉用牛導入状況の進捗管理を行った。また、28年度補正事業で取り組む規模拡大志向農家10戸と農協キャトルステーションについては、本体工事が8月より着工しており、月2回の工程会議に出席し、進捗状況の確認を行った。また、29補正事業で6戸の農家に取り組むこととなり、計画書作成支援を行なっている。

③ 飼料基盤の充実

放牧実施希望農家の県単補助事業計画書策定支援及び牧策設置支援を行った。

④ 経産牛肥育の推進

毎月の体重測定時に、肥育指導を行った。

【普及活動の成果】

- ① 五島牛の産地維持拡大
飼養頭数が、増加に転じ、4,450頭となった。



- ② 生産性向上対策の推進
繁殖成績について、対象農家については定期的な巡回を行なったことにより、長期不受胎牛が少なくなるなど改善が見られた。子牛の発育については、肉用牛後継者グループ内で、昨年度より増体が良くなった会員がいた。
- ③ 飼料基盤の充実
県単事業を活用し、牧柵設置支援を行い、放牧場を整備した。その結果、放牧頭数が7頭増頭した。
- ④ 経産牛肥育の推進
現在肥育中の牛は、月平均30kg程度で順調に体重を増加している。3月にと畜予定である。

【対象の声】

- ①五島牛の産地維持拡大：牛舎建設が完了した農家からは、飼養管理がしやすくなったと意見をいただいている。また、経営体質強化資金に取り組んだ農家からは、資金計画作成支援では大変お世話になった。
- ②生産性向上対策の推進：濃密指導に感謝している。
- ③飼料基盤の充実：放牧場を整備することができた。
- ④経産牛肥育の推進：毎月の体重測定を行うことで、牛の状態を把握することができる。3月の出荷が楽しみである。

【今後の課題】

- ①五島牛の産地維持拡大：28年度分の家畜導入と牛舎建設については、今年度中に完了するよう、定期的に進捗管理をする。29補正の6戸については、詳細な経営計画の検討や、計画策定支援を行う。また、関係機関で対象農家の課題の抽出、現地指導を行う
- ②生産性向上対策の推進：本年度の繁殖成績・子牛発育状況のとりまとめを行い、改善状況の確認と、来年度の指導方針を検討。
- ③飼料基盤の充実：関係機関からの情報を得ながら放牧可能地や来年度の放牧希望者を探す。
- ④経産牛肥育の推進：3月のと畜結果により、今後の指導方針を決定する。

【成果の活用及び普及活動上の留意点】

- ・牛舎・繁殖牛など、初期投資額が高額で、また、牛の売り上げが入るのは数年後であるため、それまでの資金が必要
- ・生き物相手であり、休みが取りにくい。
- ・地域の担い手が高齢化しており、地域で同年代の相談相手が少ない。

【発表・参考資料】

平成29年度長崎県改良普及職員活動事例研修会